

令和 8 年 10 月 9 日
国土交通省関東地方整備局
河川部

既設函渠を活用した新たなポンプ排水を開始

令和 8 年台風第 25 号により発生した酒々井町の住宅浸水被害について、関東地方整備局は TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、千葉県、酒々井町への技術的支援、ドローンによる調査、排水活動を続けてきたところです。

加えて、10 月 6 日より住宅地の浸水の早期解消に向けて、排水を強化するための作業を行っています。昨日（10 月 8 日）、埋没した既設函渠の一部を掘り起こし、既設函渠を活用した新たなポンプ排水を開始しました。

○概要

- ・ 下流側の既設函渠へ新たなポンプにより排水。
 - ・ 使用機材：排水ポンプ 1 台 0.5m³/分 （今後、順次増設予定）
- 作業箇所は足元の地盤条件が悪いため、大型の機材を搬入・設置するために必要な進入路を 24 時間体制で施工しています。
 - 進入路の施工と並行し、一刻も早い住宅浸水の解消を目指し、昨日（10 月 8 日）、埋没した既設函渠の一部を掘り起こし、人力で運搬できる新たなポンプを設置し、既設函渠を活用した下流側への排水を開始しました。
 - 今後、排水の効果や作業箇所の安全を確認しながら、ポンプ台数の増強や、より排水能力の高い機材への切り替えを進め、早期の住宅浸水の解消を目指します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
千葉県政記者会 千葉市政記者会

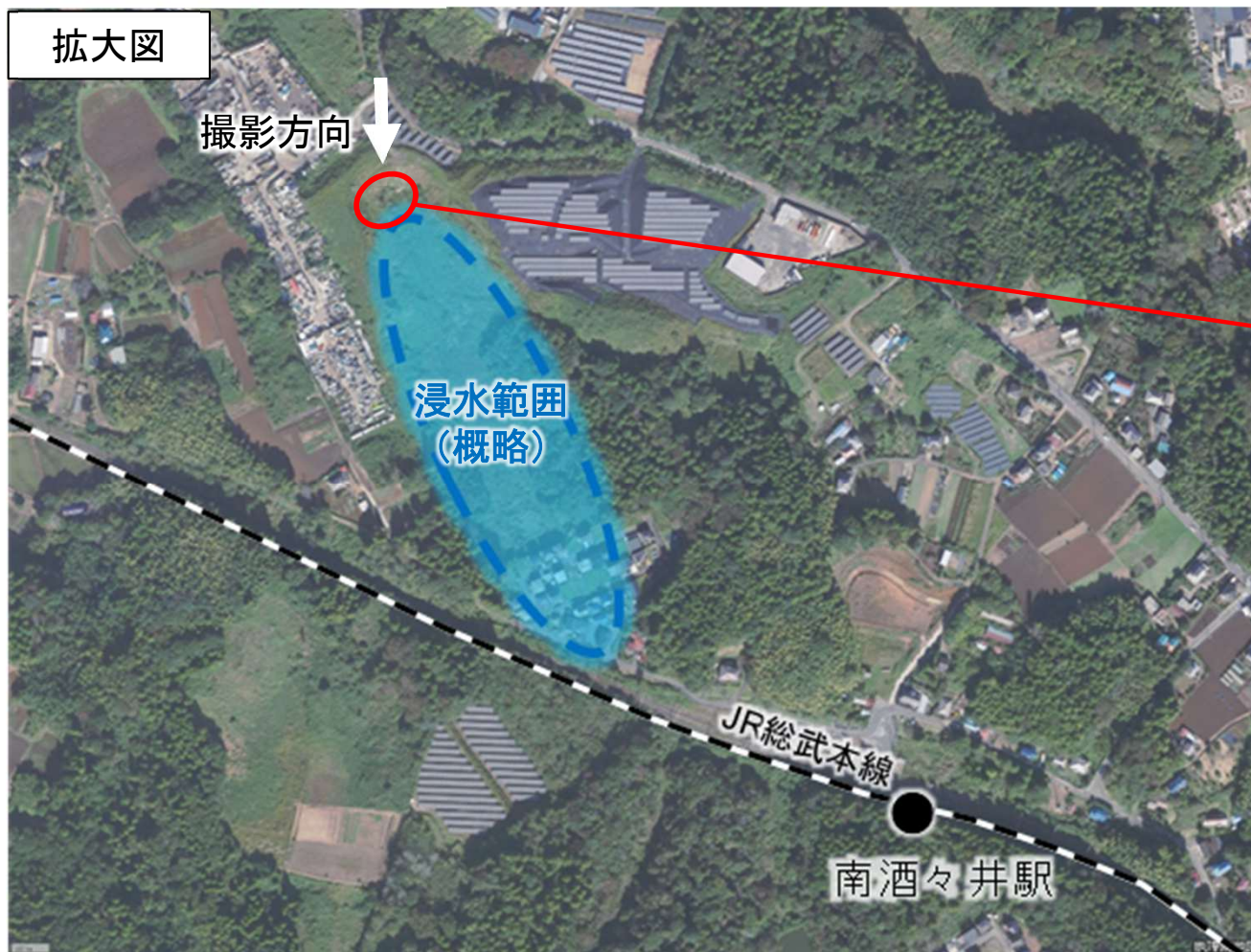
<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部

電話：048-600-1335（河川計画課直通）

メールアドレス：ktr-kawakei_kikaku@gxb.mlit.go.jp

河川調査官 檜森（ひもり） （内線 3513）



出典：国土地理院地図を加工して使用

※配管位置は暫定であり、
今後変更となる場合があります。